



べにまる

「輝きを未来に」

- 自ら学ぶ子 ○思いやりのある子
- 最後までやりぬく子 ○体をきたえる子

令和3年8月31日

発行責任者 松原 康雄

小さなことから人間性を磨く

松原康雄

今夏は例年にない暑さが続き、札幌では18日連続の真夏日となり史上最高記録を97年ぶりに更新しました。そのため農作物にも影響があり、種類によっては収穫量が少なくなったとの報道もありました。札幌で行われたオリンピックの競歩やマラソンもその最中に行われ、出場した選手も大変だったことだと想像いたします。

2学期始業式では、オリンピックのスケートボード女子で競技に失敗した選手に対し、同じ種目の出場者が駆け寄り励まし、元気づけたシーンについて話題にしました。日頃から同じ競技を愛し、互いに高め合い、尊敬し合う人間性の高さから自然と表れた行為であったろうと想像しますが、国境を越えての友情にスポーツの素晴らしさを垣間見ることができました。子どもたちにも日頃から人を敬う気持ちを忘れずに生活する大切さを訴え、言葉遣いなど小さなことから積み重ねて人間性を高めていこうと呼びかけました。

新型コロナウイルスについて国内ではデルタ株が主流となり、感染者数の増加が止まりません。北海道でも札幌を中心に感染が広まってきています。学校では感染拡大防止のため、児童に手洗い、マスク着用、換気、三密の回避、給食時の黙食等の指導に努め、水筒持参の励行をお願いしていますが、ご家庭でも毎朝の検温と健康カードの提出にご協力をお願いいたします。

また、次の状況に該当する場合は学校までご連絡下さい。

- 本人または同居する家族に発熱等の風邪症状ある。
→発熱の有無にかかわらず、症状がなくなるまで「出席停止」の取扱いとなります。
- 本人の感染が判明した。
→治癒するまでの間「出席停止」の取扱いとなります。
- 本人が濃厚接触者等に特定され、PCR検査または抗原検査を受けることになった。
→陽性の場合は、治癒するまでの間「出席停止」の取扱いとなります。陰性の場合は、保健所が指示する期間は「出席停止」となります。

2学期始まる

8月20日（金）に始業式が行われました。夏休み中、大きな事故や怪我の報告もなく、全校児童が体育館に集まりました。児童代表の作文発表があり、2学期頑張りたいこと等の目標を話してくれました。校長先生からは、表面のオリンピックについての話と1年で1番長い学期をしっかりと過ごしてほしいという話がありました。



力作揃い夏休み作品展

夏休みの自由研修が、ホールに展示されています。1年生は初めての自由研究ということで、何をしようか迷った人も多かったのではないのでしょうか。しかし、展示されている作品を見ると、どれも個性的で、よく工夫されていました。

各クラスから選ばれた子の作品は、後日村の広報誌でも紹介される予定です。



芸術鑑賞会

昨年は中止になった巡回小劇場ですが、今年は距離をとって、音楽の演奏を聴きました。「ダンス de ワンダーランド」という題で、ピアノ・クラリネット・ドラムの3名とダンスをする1名の方が、沢山の演奏や踊りを披露してくれました。普段、生演奏を聴く機会が少ない児童にとって、とても貴重な経験になりました。

